

産業情報誌 商工 ナビ いずみ

“ものづくり創造への道案内”

第
14
号

編集・発行:和泉市ものづくり
サポートセンター
(府中町四丁目20-2)
発行日:平成23年2月15日
URL:www.monodukuri.izumi.osaka.jp/



トリヴェール和泉 航空写真 (平成 22 年 4 月)

活気づく “トリヴェール和泉西部ブロック”

トリヴェール和泉は、和泉市中央部の丘陵地帯に位置し、UR 都市機構が開発した住宅・産業都市です。泉北地域の第2のニュータウンとして発展しています。

「トリヴェール」とは、フランス語で「3つの緑」という意味で、北部・東部・西部の3ブロックから構成され、住居・都市・研究開発の3つの機能を持つことを表しており、市名から取った「和泉」には「いいこと ずっと みんなのまち」という、街の発展を願う意味が込められています。特に、西部ブロックは研究開発等の技術振興拠点である「大阪府立産業技術総合研究所」(通称：産技研)を核に、研究開発型企業や高度技術型企业など先端型のものづくり企業が立地しており、今後の発展が期待されています。

和泉市ものづくりサポートセンターでは、和泉市、和泉商工会議所と一体となって積極的に応援してまいります。

目 次

	(ページ)
紹介・・・・・・・・・・	2・3
桃山学院大学	
実践教育で<社会人力>を高める	
特集・企業紹介・・・・・・・・	4・5
和泉市ものづくりサポートセンター	
黄綬褒章を受章	
元気なものづくり企業	
展示会ほか・・・・・・・・・・	6・7
大阪勧業展 2010	
関西ものづくりワールド	
(財)大阪府産業基盤整備協会	
テクノステージ和泉まちづくり協議会	
和泉商工会議所	
公的施設の案内・・・・・・・・	8

桃山学院大学

実践教育で＜社会人力＞を高める！！

桃山学院大学経営学部では、＜社会人力＞の養成を重視した教育を展開しています。

＜社会人力＞とは、一言でいえば、社会の変化に柔軟かつ的確に対応できる力であり、その養成のためには、知識や理論の学習のみならず、実践教育が必要です。さまざまな現場を体験し実際にどのような変化が起きているのかを体感し、さらに現場に参加することを通して、この力の養成をめざしています。

このような取り組みによって経営学部は、本年度文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業（現代GP）」に採択されました。これによって、地域と連携した実践教育を拡充します。

ここでは、現在、経営学部が取り組んでいる実践科目をご紹介します。

店舗経営を実践する ＜科目名：地域ビジネス実践＞

■この授業では、店舗経営のノウハウを実践的に学び、学生が実際に大学で店舗を運営します。

20人程度の少人数クラスの授業です。

■アパレル業界のプロの方々から、業界動向、店舗企画、市場調査、仕入れ、広報、会計、販促、接客などを学び、学生たちだけで店舗を運営します。



■2010年度は、大学祭で本格的な婦人服・アクセサリー店を出店しました。

また、アクセサリー商品として、和泉特産品の人造真珠も扱わせて頂きました。

■おかげさまで、地元の方々にも好評を得て、店舗は大盛況でした！！

■この実践的な授業を通して、学生たちにはコミュニケーション力や行動力などの社会人力が身につきました。

今後のプラン

経営学部では、今後もより有益な実践教育を拡充する予定です。例えば、「メディアビジネス実践」は、現役新聞記者がインタビューや情報収集のノウハウを実践的に教えるだけでなく、的確な文章作成を指導します。

松尾ゼミでは、アジアの現状や環境問題をテーマにした企画に学生主体で取り組み、地域の皆さんに参加を呼び掛ける予定です。また、桃山学院大学は和泉・泉南地域の一員です。和泉商工会議所やテクノステージ和泉まちづくり協議会会員企業の皆様との連携を重視しております。

地域の皆様方のご協力とご支援をお願いいたします。

環境NPOの現場に学ぶ

＜科目名：環境ビジネス実践＞

■この授業では、環境NPOの事務所でインターンシップとして参加し、環境問題や環境対策の現状を学びます。

■受け入れ先のNPOは、大阪市内に本部のある「特定非営利活動法人 地球環境と大気汚染を考える全国市民会議（CASA）」です。

同法人は、国連経済社会理事会（ECOSOC）の登録NGOであり、同理事会の召集する会議に参加するなど、国際的な活動も行っています。



■学生たちは、夏休みに交代で1週間程度インターンシップを行い、環境問題の資料作成やデータ収集を行うとともに、近辺の農業や漁業関係者、気象庁、各種研究機関にもインタビュー調査を行いました。

■このような活動を通じて、環境問題への理解を深めるだけでなく、環境対策として今、何が重要なのかを実践的に学びました。

経営コンサルティングを実践する

＜科目名：牧野ゼミ＞

■このゼミでは、福祉団体の経営する喫茶店の経営コンサルティングを実践しています。

2010年度は、和泉中央駅近くにある「いずみ障害者ふれあいプラザ・オアシス」のコンサルティングを行っています。



■売上げアップだけでなく、地域の様々な人が交流できるような“コミュニティカフェ”につくりかえることを目的として、取り組んでいます。

■マーケティング調査、広報、イベント実施、企画提案のすべてを「学生たちだけ」で行います。

学生たちの奮闘ぶりは、産経新聞（2010年9月19日）にも記載されました。

■関係機関への協力依頼、顧客先での打ち合わせ。

■プレゼンテーション、報告書作成などの実践を通じて、学生たちに課題発見力、計画力、ストレスコントロール力、実行力などの社会人力が身についてきております。

特集

和泉市ものづくり
サポートセンター

紹介します！

ものづくり元気企業

「和泉市ものづくりサポートセンター」では、創業支援、販路開拓、新分野進出などを計画している「やる気のあるものづくり企業」と一緒にサポートします。

お気軽にご連絡ください！

■和泉市ものづくりサポートセンター

TEL：0725－46－9000

FAX：0725－46－9001

ホームページ：

<http://www.monodukuri.izumi.osaka.jp>

Eメール：

support@monodukuri.izumi.osaka.jp

企業（経営者）の悩み

まずはご相談ください

和泉市ものづくりサポートセンター

一発解決



こんなときご相談ください

- 新しい会社を創業したい
- 異業種の企業等と交流したい
- 新たな販路を開拓したい
- 特許や実用新案の申請をしたい
- 新しい技術を開発したい
- ビジネスパートナーを探している
- 資金の調達を考えている
- 公的な支援制度を活用したい

直接、企業に訪問し
経営、管理等の要望、一緒に解決

- ◎府立産業技術総合研究所など地元機関との連携
- ◎国・府の支援機関、大学等との連携
- ◎専門機関斡旋、公的支援制度の紹介、融資制度の
一元的相談

大阪金属（株）“金光常吉顧問” 黄綬褒章を受章

平成22年秋の褒章受章者が発表されました。

この栄典は、社会や公共の福祉、文化などに貢献した方を顕彰するもので、大阪府内からは1団体、42名が選ばれました。

そのなかで第一線で業務に精励している人で、他の模範となるような技術や事跡を有する方を対象とする「黄綬褒章」が府内で15名受章され、市内では、大阪金属株式会社 金光常吉顧問が、その栄誉に輝かれました。

受章に際し金光氏は、「身に余る光栄であり、48年間職人として働いてきたことが評価されてと考えております。受章は私一人の力ではなく社員の協力のおかげで

す。今後とも後進の指導を通じ、日本の技術力向上に努めたい。」と、更なる意欲を述べられておられました。本当におめでとうございます。

また、建設・不動産関係から深阪好孝氏（株式会社深阪工務店代表取締役、日本建設大工工事業協会副会長）、呉服販売業界から村井良之氏（染と織むらい代表者、和泉市商店連合会会長、大阪府商店街連合会副会長）の方々が受章されました。

心からお慶び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



米田明彦氏が従五位 瑞宝双光章を受章

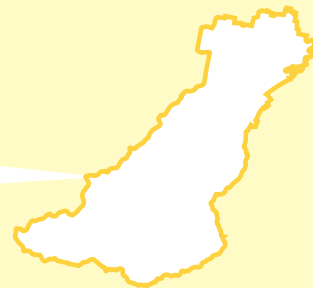
元和泉市ものづくりサポートセンター コーディネーターの米田明彦氏が、このたび勲章（従五位 瑞宝双光章）を受章されました。

米田氏は中小企業の支援機関である和泉市ものづくりサポートセンターの設立、またコーディネータ

ーとしてテクノステージ等の多くのものづくり企業に対して熱意をもって技術、販路開拓及び大阪府立産業技術総合研究所との連携など、支援・指導等に貢献されました。

米田氏の受章を心よりお祝い申し上げます。

元気なものづくり企業



商工ナビいずみは今回から市内の「元気なものづくり企業」として活躍している企業を紹介します。

今回は、『株式会社 村上技研産業』（池上町 3-9-55 TEL 45-0321）を紹介します。

株式会社村上技研産業は、昭和 48 年創業以来先進の技術、先駆の開発思想を第一義として機電一体の装置開発に取り組み、確実に信頼の高い装置を社会に送り出し、多大な信用と実績を得ている市内の優良企業です。

村上社長は、大阪府発明実施功労者をはじめ、東久邇宮記念賞（褒章）、文部科学大臣賞、さらに平成 18 年には黄綬褒章を受章されるなど数かずの受賞歴をもっておられ、大阪産業大学客員教授としてもご活躍されております。



株式会社 村上技研産業

代表取締役 村上功

（自動化推進協会理事）

いつも無を有に！！

私は学生時代、弱電コースを専攻しました。

そのなかでも、特に自動制御工学に関心を抱き、電気・電子の現象や理論を機械分野など他分野へ応用し、オートメーション化したいという願望で、プラント機械メーカーに就職しました。

その会社では研究課に所属し、嬉しくて「さあ～やるぞ！！」という思いで一杯でした。そこではセンサや電子回路の研究が主で、無我夢中で仕事したものです。

そのときの電子回路はアナログコンピュータや、シケンス回路が主でした。

私は設計した回路で、プラント機械の体積は高さ 8 m・幅 4 m・長さ 25 m というデッカ～イ機械をスイッチ操作で自動的に作動した時、技術屋になって良かったと感激したものでした。

更にデジタルコンピュータを独学で、ハード・ソフトと勉強しました。

昭和 40 年代初め頃は、まだデジタル技術は普及しておらず、今のように CPU-IC がなく、論理回路（AND, OR, NOT）やメモリはシンプル IC メモリやダイオードを使いました。ソフトは機械語で工夫したものです。

ある時、大阪に戻らなければならない自己都合のため転職し、専門学校の教授に就きました。

その後、電機会社から、教育用コンピュータの開発の相談を受け、前向に取り組み、設計することになりました。自分でも不思議な程、上手く製品として完成し、後に文部省推薦機になりました。

そうこうしているうちに、電機メーカーのラインの自動化、工作機械のオートメーション化、特装車メーカーの搭載機の自動化、ベアリングメーカーのラインの自動化などと多忙ながらも引き受け頑張ったものです。その頃は徹夜の繰り返しで苦労の連続でした。

今でも過去を振り返ると、会社創業・設立と三十数年経ちますが、最初の投資は「白い紙と鉛筆」でした。有難いのは、やはり周りの暖かい人に恵まれたお陰だと思っています。

現在は、FA 分野、セキュリティ分野、計測分野の仕事をしていますが、特にクリーン環境に関連する仕事に注力しています。

最近では、業界初の水素ガスの洩れを光学的に検知できる装置も完成しました。

私は、いつまでも挑戦を忘れることなく、やる気のある青春を忘れることなく、頑張っていると思っています。

レーザー距離センサ LDS-7A

長距離用としては世界トップクラスの
距離精度 ±1.5mm

好評発売中

防爆形炎検知装置 BFL-3WW

1 種危険場所の炎
を瞬時にキャッチ！
PAT 取得済



さらに高感度になり、
検知範囲が広がりました

好評発売中

工業用 光学式水素ガス検知装置 H-10Z

業界初となる検知方式で
水素ガスを瞬間キャッチ！
PAT 取得済



新製品

大阪勧業展 2010

～千客万来、商門来福～をテーマに、「大阪勧業展 2010」が、9月8日・9日の両日大阪府立体育館で行われました。



大阪府内の様々な業種の中小企業が一堂に集まり、技術力、企画力をはじめ、製品・商品などのPRを行う「総合展示商談会」で、府内すべての商工会議所・商工会選りすぐりの優良企業の会員が出展。独自の技術・企画・発想から開発したユニークな自社製品やサービスなどを個別に紹介し、来場者と出展者が幅広い分野の商談ができるとあ

って、新たな取引先やビジネスパートナーを求め多数の人が来場し、高い関心を集めました。

和泉市からは、有限会社エルアンドアール、大栄環境株式会社、朋友金属株式会社の3社が出展されました。



出展企業：261 企業 272 ブース
(市内出展企業 3 企業)

入場者数：10,183 人
(商談件数 3,386 件)

※出展企業は、出展料の半額（5万円限度）の補助が受けられます。

関西ものづくりワールド

第13回 関西機械要素技術展

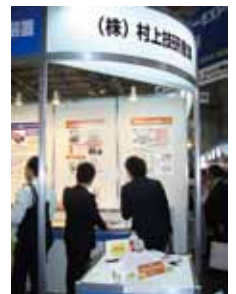
第2回 新エネルギー EXPO 大阪

西日本最大のものづくり専門展「関西ものづくりワールド」(第13回関西機械要素技術展、第13回関西設計・製造ソリューション展、第2回新エネルギー EXPO 大阪、第1回医療機器開発・製造技術 EXPO 大阪)が10月6日から8日まで、インテックス大阪で行われました。

和泉市からは、第13回関西機械要素技術展に正栄工業株式会社(国分町1419-1)が、第2回新エネルギー EXPO 大阪に株式会社村上技研産業(池上町3-9-55)が出展され、大盛況のうちに閉幕しました。



正栄工業株式会社



株式会社村上技研産業

テクノステージ和泉にある

大阪府いずみテクノサポートセンターの入居者を募集

大阪府いずみテクノサポートセンターでは、新たな事業展開を目指す創業者ベンチャー企業及び中小企業に対し、賃貸工場・事務所を提供しています。センターでは、国、大阪府、和泉市、公的支援機関や近隣企業との様々な交流により活発な企業活動が行われています。現在、下記の部屋について入居者募集を行っていますので、ご応募をお願いいたします。(募集室については変動があります。現時点の募集状況はHPで確認できます)

1. 募集室及び賃料等(平成22年12月現在)

区分	階	部屋番号	面積 (㎡)	月額賃料 (円)	月額共益費 (円)
賃貸工場	2階	RF201	96.57	121,800	38,600
賃貸工場	2階	RF202	96.57	121,800	38,600
賃貸事務所	2階	RO203	58.74	105,000	23,500



- ・保証金：契約月額賃料(消費税を除く)の3か月分
- ・駐車場：使用料は1台月額5,250円 保証金は使用料の2か月分(消費税を除く)

2. 入居資格

資本若しくは出資総額3億円以内又は常時雇用する従業員数300人以下の会社、個人であること。

※食品、印刷等入居の対象とならない業種もありますので、詳細については右記にお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ先

〒541-0054

大阪市中央区南本町4-3-6

「財団法人大阪府産業基盤整備協会」まで

TEL: 06・6252・8362

ホームページ:

<http://www7.ocn.ne.jp/~kibankyo/>

テクノステージ和泉まちづくり協議会新年互礼会を開催

平成 23 年 1 月 28 日（金）和泉シティプラザで関係各位はじめ会員 115 名が参加し「テクノステージ和泉まちづくり協議会新年互礼会」が盛大に行われました。

会長、来賓による挨拶のあと、平成 22 年度に取り組んでいる事業紹介があり、相互の交流を図り、親睦を深めました。

会員企業の協力による屋台の出店や、野田亜紀子氏の歌と塩野真由美氏のピアノ演奏に場内が一段と盛りあがりました。



かしこい車の使い方 & 新しいエネルギーの技術の紹介

「交通環境整備事業 新エネルギーの活用」

平成 22 年 11 月 17 日大阪府立南大阪高等職業技術専門校において、おおさか FCV 推進会議との共催で、大阪府商工労働部新エネルギー産業課から次世代のクリーンエネルギーとして期待される水素・燃料電池など、新エネルギーに関する技術の紹介がありました。

また、テクノステージ和泉まちづくり協議会会員企業による、交通環境に配慮した商品や取組みも紹介され、地球温暖化対策について考える機会となりました。



○新エネルギー（水素燃料電池を主体とした）の紹介

水素と燃料電池への期待…基礎的な技術の話、現状と未来

＜大阪府新エネルギー産業課＞

○交通環境整備事業「かしこい車の使い方」の紹介

＜テクノステージ和泉まちづくり協議会＞

○建築廃材を利用した「バイオエタノール」の紹介

＜大栄環境（株）＞

○L P ガス車等の展示・紹介

＜伊丹産業（株）＞

○水素燃料電池車展示・紹介

＜大阪府新エネルギー産業課＞



防災訓練を見学

消火器の取扱を体験

テクノステージ和泉まちづくり協議会の自主防災連絡会の事業として、平成 22 年 10 月 26 日に伊丹産業（株）和泉工場で行われた防災訓練に参加しました。

小規模企業の
経営者の
みなさまへ

応援しますあなたの経営 和泉商工会議所

共同経営者も加入できます！

平成 23 年 1 月 1 日より

現役引退後のことお考えですか？

小規模企業制度は、『小規模企業経営者のための退職金制度』です

ポイント

- 1、加入に年齢制限はありません。60 歳以上でも OK！
- 2、常時使用する従業員の数が 20 名以下（商業、サービス業 5 名以下）の個人事業主または会社の役員の方が対象です。
- 3、毎月 3 万円の掛金（年間 36 万円）で、例えば、課税対象所得 400 万円の方ならば 108,000 円の節税になります。
- 4、「小規模企業共済法」に基づき運営されています。

和泉商工会議所

所在地：和泉市府中町 4-20-2（市民体育館となり）

TEL：0725-46-4141

FAX：0725-46-8686

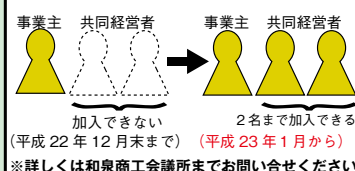
URL：http://www.izumicci.jp/

平成 23 年 1 月より
受付開始！

『事業主の「共同経営者」も加入の対象となります』

共済加入対象者が、個人事業主の配偶者や後継者など「共同経営者」まで拡大されます。（1 事業主につき 2 人まで）

共同経営者の加入イメージ



※詳しくは和泉商工会議所までお問い合わせください

テクノステージ和泉近隣の公的施設の案内

大阪府立産業技術総合研究所

「産技研」の愛称で親しまれる技術開発推進拠点

大阪府が中小企業の技術支援のために高度な試験研究機器を整備し、専門のスタッフによる技術相談、試験分析、受託研究などのサービスを実施しています。

特に試験研究機器の多くは開放しており、企業の皆さんの研究拠点として利用いただいています。

産技研利用の流れ

～技術支援センター～

産技研の持つ技術力を最大限に発揮するために、研究本館1階に総合窓口『技術支援センター』を設置しています。

技術支援センターは、所内情報ネットワークシス

テムを活用し、企業から持ち込まれる技術課題や要望に迅速に対処するための技術相談の総合窓口です。

利用の手順について詳しく知りたい・技術のことでお困りの時は、まず『技術支援センター』（電話：0725-51-2525）へお問い合わせください。

産技研の利用は、常に『技術支援センター』から始まります。

大阪府立産業技術総合研究所

企画総務部企画調整課：0725-51-2511

大阪府立産業技術総合研究所ホームページ：

<http://tri-osaka.jp/>

JST イノベーションプラザ大阪

研究成果最適展開支援事業（A-STEP）の紹介

A-STEPは大学・公的研究機関等（以下、大学等）で生まれた研究成果を実用化するための研究開発を対象とした技術移転支援制度です。

大学等における研究成果の中から企業の視点でシーズ候補を掘り起こし、シーズとしての可能性を検証して顕在化させるといった実用化に向けた初期段階から、顕在化したシーズの実用性を検証する中期段階、さらには製品化に向けて実証試験を行うために企業主体で企業化開発を実施する後期段階まで、それぞれの研究開発段階の特性に応じた複数の支援タイプにより実施しています。

A-STEPは【フィージビリティスタディ（FS）】と【本格研究開発】の2つのステージから構成されています。

1. フィージビリティスタディ（FS）ステージ

FSステージには、企業化への視点に立脚して技術移転の可能性を探索する「探索タイプ」、産学共同でシー

ズとしての可能性を検証する「シーズ顕在化タイプ」、ベンチャー企業設立に向けた研究開発に先立ち、起業の可能性を検証する「起業検証タイプ」の3種類のタイプを設けています。

2. 本格研究開発ステージ

このステージでは、シーズの実用化に向けて、産と学の共同研究による実用性検証および実証試験のフェーズにおける研究開発を行っていただきます。7つのタイプが設けられており、効率的・効果的な研究開発推進のために複数のタイプの支援を組み合わせ、切れ目なく研究開発を実施することを可能としています。

詳細については下記までお問い合わせください。

TEL：0725-51-3350；FAX：0725-51-3360

なお、A-STEPのホームページもご参照ください。

HP：<http://www.jst.go.jp/a-step/index.html>

大阪府立南大阪高等職業技術専門学校

人材の育成と採用については当校まで

人材をお探しの企業様へ

通信・環境・整備、各分野に関して、職場で使える実践的な訓練を行っています。

毎年のべ約270名の生徒が入校し、毎年3月には情報通信科、Webシステム開発科、ネットワークセキュリティ科、環境分析科、電気設備管理科、自動車整備科、車体整備科（定員各科30名）、10月には、ネットワークセキュリティ科、空調設備科（定員各科30名）が修了します。（お問い合わせは就職支援室まで）

テクノ講座（在職者向け短期訓練）

南大阪校では、現場の方向けの「IT活用」、「財務会計」

「仕事の伝え方、学び方」に関する講座を中心に短期間の講座を実施いたします。府内の技術専門校の特色にあわせた短期間の講座を実施しています。

（お問い合わせはテクノ講座担当まで）

人材開発センター

事業主、団体等の行う職業・教育訓練を促進するため施設の貸出しを行っています。

（お問い合わせは開発援助室まで）

〒594-1144 和泉市テクノステージ2丁目3-5

（南海バス テクノステージセンター前 下車すぐ）

電話：0725-53-3005